

ニッセイ インターネットアンケート ～1月：「2016年の抱負・期待」について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ（<http://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「2016年の抱負・期待」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《調査概要》

- 調査期間：平成27年12月1日（火）～12月17日（木）
- 実施方法：インターネット（PC・携帯電話モバイルサイト）による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：12,927名（男性：7,128名、女性：5,799名）

＜年代別回答者数＞

		(名, %)						
年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男性		359	1,028	2,133	2,105	1,122	381	7,128
女性		462	971	1,636	1,512	870	348	5,799
合計		821	1,999	3,769	3,617	1,992	729	12,927
占率		6.4	15.5	29.2	28.0	15.4	5.6	100.0

《調査結果のポイント》

ポイント①

質問2

2016年は景気が良くなるかについては、「はい」23.6%、「いいえ」55.6%
景気が良くなったと実感するのは、「収入が増える」、「商店街がにぎやかになる」「企業の採用数が増える」。特に20～50代の現役世代では「収入が増える」の割合が高い。

ポイント②

質問3

給料が増えるかについては、6割以上が「変わらない」と回答。
若い年代は給料が上がることに對しての期待が高く、年配になるほど期待は低い結果になった。

ポイント③

質問5

消費増税前に購入するものは、全体では、「家電」32.9%がトップ。次いで「食品・日用品」23.6%と生活に關連するものの需要が高い結果になったが、20代では「趣味に使うもの」が28.7%と、自分のための投資を重視している結果になった。

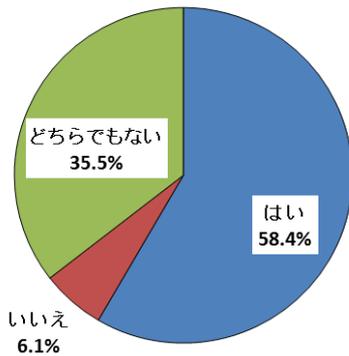
【質問1】

- ◆2016年はあなたにとって良い1年になりそうですか？
- ◆2015年はあなたにとって良い1年でしたか？

(回答者数：12,927名)

○半数以上の方が、「2016年は良い1年になる」と回答（58.4%：昨年57.4%）。
 ○男女別では、男性より女性の方が2016年に対する期待・2015年に対する評価が高いという結果に。
 ○年代別では、比較的若い年代の方が2016年に対する期待・2015年に対する評価が全体に比べて高いという結果に。

<2016年は良い1年になりそうか>



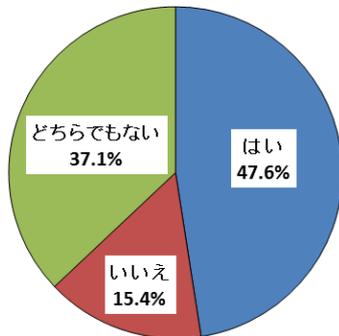
【男女別】 (%)

回答	全体	男性	女性
はい	58.4	55.5	62.0
いいえ	6.1	6.9	5.2
どちらでもない	35.5	37.6	32.8

【年代別】 (%)

回答	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
はい	58.4	69.7	64.2	56.0	53.9	59.4	61.9
いいえ	6.1	4.1	4.8	6.9	7.3	4.8	5.8
どちらでもない	35.5	26.2	31.0	37.1	38.8	35.8	32.4

<2015年は良い1年だったか>



【男女別】 (%)

回答	全体	男性	女性
はい	47.6	44.5	51.3
いいえ	15.4	16.4	14.2
どちらでもない	37.1	39.1	34.5

【年代別】 (%)

回答	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
はい	47.6	63.3	57.2	44.8	41.4	46.1	51.9
いいえ	15.4	11.8	10.6	16.4	18.1	15.2	14.4
どちらでもない	37.1	24.8	32.2	38.8	40.5	38.8	33.7

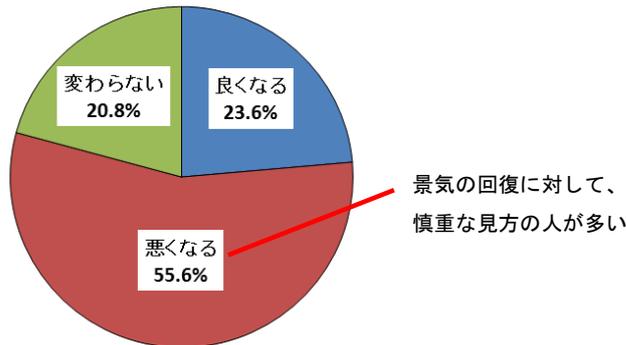
【質問2】

◆2015年と比べて2016年は景気が良くなると思いますか？

(回答者数：12,927名)

- 23.6%が2016年は「景気が良くなる」と回答。
- 景気が良くなったと実感するのは、「収入が増える」(64.8%)、「商店街がにぎやかになる」(29.5%)、「企業の採用数が増える」(25.6%)という結果に。特に20代～50代の現役世代では「収入が増える」の割合が高いという結果。
- 昨年の調査結果との比較では、「景気が悪くなる」と回答した方が31.8%増加。

＜全体＞



＜昨年の調査との比較＞

	今年の調査 昨年の調査		差異 (%)
	2016年の景気	2015年の景気	
良くなる	23.6	29.5	▲5.9
悪くなる	55.6	23.8	▲31.8
変わらない	20.8	46.7	▲25.9

◆どんな時に景気が良くなったと感じますか？

回答	(%)						
	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
収入が増える	64.8	74.2	73.7	72.8	66.5	45.3	33.3
商店街がにぎやかになる	29.5	19.5	23.1	25.2	31.2	40.7	41.8
企業の採用数が増える	25.6	24.8	23.5	24.4	27.1	29.0	21.9
飲食店が混雑している	20.0	14.5	17.1	20.1	21.8	21.7	19.1
GDPなど経済指標が良くなる	17.8	10.5	14.0	16.4	18.2	25.6	21.0
物価が上がる	10.3	8.4	9.8	9.7	10.4	11.5	13.6

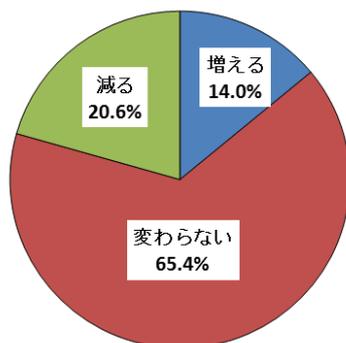
[質問3]

◆2016年の給料は増えると思いますか？

(回答者数：12,927名)

○2016年の給料は「変わらない」と回答した方が、昨年同様一番多い結果となり、6割を超えた(65.4%)。
○年代別では、若い世代ほど「給料が増える」の割合が高く、賃上げへの期待が高い。

<2016年の給料は>



<2016年の給料は>

【年代別】

(%)

回答	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
増える	14.0	24.2	18.9	14.7	11.2	10.6	9.6
変わらない	65.4	63.0	64.9	66.6	64.1	64.5	71.5
減る	20.6	12.8	16.2	18.7	24.7	24.8	18.9

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

2016年は良い年になるとの回答が半数以上を占めており、先行きへの期待が高いことが分かります。ただ、2016年の景気は良くなるかとの回答では、55.6%と半数以上が良くならないと答えています。多くの人にとって「良い年」と「景気が良い」は違うものだということが分かります。

現役世代の7割程度は収入が増えた時に景気が良くなったと感じると回答しています。その収入の先行きの見方については、質問3で2016年の給料は変わらないとの回答が大半です。政府も賃上げを最優先課題にしていますが、ここが改善しないと景気が良くなったとの実感が国民に広がらないという構図がアンケートから見て取れます。



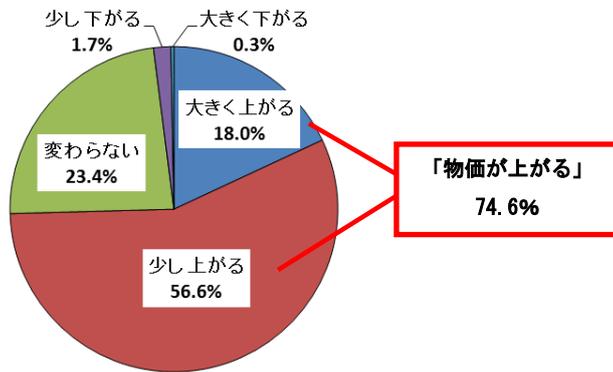
【質問4】

◆2016年の物価は上がると思いますか？2015年の物価は上がったと感じますか？

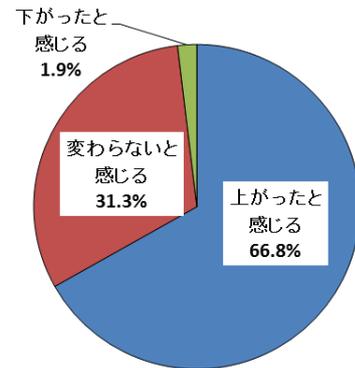
(回答者数：12,927名)

- 7割以上（74.6%）の方が「2016年の物価は上がる」と回答。
- 「2015年の物価が上がったと感じる」方は66.8%となり、昨年のアンケートで、「(2014年の)物価が上がったと感じる」と答えた方の82.6%を下回る結果に。

＜2016年の物価は＞



＜2015年の物価は＞



＜昨年の調査との比較＞

	今年の調査	昨年の調査	(%)
	2015年の物価	2014年の物価	差異
上がったと感じる	66.8	82.6	▲15.8
下がったと感じる	1.9	0.8	1.1
変わらないと感じる	31.3	16.6	14.7

＜ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント＞

2015年の物価は上がったと感じる人が66.8%にものぼり、2016年は74.6%に増えています。

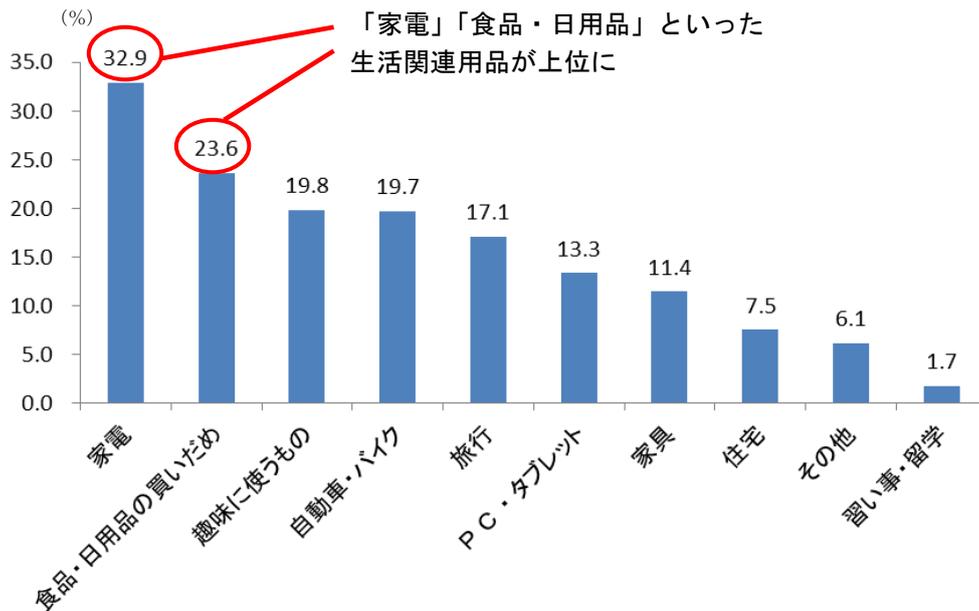
日本銀行が金融政策のターゲットとしている消費者物価指数（生鮮食品除き）は原油価格の下落を受けて夏ごろから0%近辺となっていますが、国民が感じる物価は円安などにより輸入品物価が上がっていることや、生鮮食品などの値上がりのイメージを強く受けているようです。

【質問5】

◆2017年4月に予定されている消費税増税前に購入するものは何ですか？

(回答者数：12,325名)

- 「家電」が32.9%でトップ、次いで「食品・日用品の買いだめ」(23.6%)、「趣味に使うもの」(19.8%)という結果に。
 ○年代別では、20代で「趣味に使うもの」(28.7%)や「旅行」(21.0%)といった自分のためにお金を使う傾向が高いという結果に。



【年代別】

(%)

回答	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
家電	32.9	21.2	30.8	36.5	35.0	31.1	26.8
食品・日用品の買いだめ	23.6	18.0	24.9	25.4	22.2	21.4	29.9
趣味に使うもの	19.8	28.7	19.9	19.5	18.4	19.8	18.1
自動車・バイク	19.7	20.2	18.7	22.0	20.6	18.0	10.9
旅行	17.1	21.0	17.7	13.6	15.7	23.6	18.0
PC・タブレット	13.3	15.4	12.7	14.9	14.1	11.0	6.0
家具	11.4	14.2	16.6	11.2	9.9	9.4	7.2
住宅	7.5	12.2	11.7	7.2	5.4	6.2	5.0
その他	6.1	2.7	4.4	5.3	6.4	8.2	10.8
習い事・留学	1.7	2.3	2.5	2.0	1.2	1.2	1.8

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

購入品については、自動車・バイクや住宅などの高額商品ではなく、家電や日用品などの生活必需品が上位になっています。

これは、前回の消費税引上げ(5→8%、2014年4月)前に住宅などの購入を行ったことが理由でしょう。ただし、駆け込み需要は引上げの半年前くらいから発生しますので、今年の年末に同様の調査を行えば、高額商品の回答が増えることが予想されます。

【質問6】

◆2016年に最も活躍を期待する有名人は誰ですか？

(回答者数：4,375名)

- 1位は、フィギュアスケートで世界最高得点を更新する等、大活躍だった羽生選手。3位にはラグビーワールドカップで注目を集めた五郎丸選手がランクイン。
○昨年に比べてスポーツ関係者が増えて、8名がランクイン。10位には、プロ野球で現役を引退した高橋由伸新監督がランクイン。

<2016年の調査>

順位	活躍を期待する有名人	回答数 (名)	占率 (%)
1位	羽生 結弦	571	13.1
2位	安倍 晋三	456	10.4
3位	五郎丸 歩	294	6.7
4位	錦織 圭	279	6.4
5位	浅田 真央	189	4.3
6位	大谷 翔平	172	3.9
7位	又吉 直樹	122	2.8
8位	前田 健太	89	2.0
9位	イチロー	85	1.9
10位	高橋 由伸	82	1.9

<2015年の調査>

順位	活躍を期待する有名人	回答数 (名)	占率 (%)
1位	安倍 晋三	1,001	13.8
2位	錦織 圭	956	13.1
3位	羽生 結弦	596	8.2
4位	大谷 翔平	224	3.1
5位	田中 将大	98	1.3
6位	イチロー	97	1.3
7位	小泉 進次郎	84	1.2
8位	橋下 徹	83	1.1
9位	松坂 大輔	67	0.9
10位	嵐	65	0.9

(敬称略)

以 上